**仕事を抱え込み過ぎない為の〔教員の組織的な仕事の進め方ヒント〕**

協業・協働の論理　１+１+１+１+１ ≒ ５ **＋α**　の**〔 ＋α 〕**を考える

* 個々の教員の仕事・業務は，本来，「学校としてすべき仕事」「学年・分掌・教科としてすべき仕事」等の「組織として担うべき仕事」を，より組織的・機能的（便宜的）に行えるようにする為に分担している。

⇒　個々人が，職業人として自分の分担に責任を持つことが根幹であるが，同時に，〔組織として担う

仕事・業務〕であるという捉え方が大事である。

* 学校の仕事・業務は個々人では単年度で区切られるように見えても，組織としてみると，毎年工夫改善を経ながら，同じような仕事・業務を継続している。

⇒　自分が，学校や部署を異動したら，来年度にその仕事を引き継ぐ人は，どのように取り組むこと

になるだろうか（情報の共有の仕方と引き継ぎ方の視点）

⇒　部署の内外に，その仕事・業務が（ある程度でも）理解できている・知っている人がいることが組

織としてはプラスが多い。

* **チームでの〔＋α〕　～　〔 分業 ＋ 協業 〕〔 協働しての課題解決 〕**

学校経営方針/経営計画等の明確化　～　**分掌・教科等の組織目標の連鎖の重要性**

⇒　チームとして目標を明確に持ち，機能的に業務を分担することにより〔＋α〕が生まれる

⇒　目標やすべきこと，仕方等について，協議し確認し合うことが必須要件である

**【　教科　】**

**教科経営方針/シラバス/**

**作問等の組織的整理/分担**

**⇒　〔＋α〕を生み出せる**

**【　学年　】**

**学年経営方針/指導計画等の組織的整理/分担**

**⇒　〔＋α〕を生み出せる**

**《　A教諭　》**

※　仕事が重なっても，自分の

業務だし，他の人も忙しいと

思って，周りになかなか助け

を頼めない

* 自分の力や努力が足りない・・と，思ってしまう

　⇒　仕事・業務の捉え方自体

の視点整理が大事！

**【 その他，PT・部活等 】**

**○○部経営方針/活動計画等の組織的整理/分担**

**⇒　〔＋α〕を生み出せる**

**【　分掌　】**

**分掌経営方針/活動計画等の組織的整理/分担**

**⇒　〔＋α〕を生み出せる**

* **個人ごとでの〔＋α〕の例　～　〔 協働による財産蓄積 〕**

**《同じ分掌のC教諭》**

分掌業務/物理的な労力/アイデア等の協働・共有

**《同じ教科のB教諭》**

シラバス/授業内容/考査の作問等の

協働・共有

**＋α**

**〔協働〕**

**＋α**

**〔協働〕**

◇　部分的にでも協働したり，共有したりし合うことで，**〔＋α〕**が生まれる

　**⇒　別々に作業して，ペーパー確認だけだと，教育現場では〔＋α〕が生まれ難い**